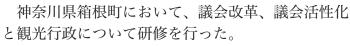
町民の議会参加の間口を広げる

平成28年7月26日から27日



「開かれた議会」への取り組みは、情報発信ツー ルとして広報誌の他、ポスター、ホームページ、メー ルマガジン、フェイスブックなどを利用。

議会傍聴では、児童・乳幼児同伴の傍聴を可能に するため、託児室や授乳室の設置や、スマートフォ ン、タブレット端末の持ち込み自由、写真撮影や録 音が可能、詳しい資料の貸し出しなど本町議会にお いても検討に値する取り組みであった。



箱根町議会の託児室

後期議員研修 (7人) …………… 担い手確保

農業・農村政策と移住・定住 政策を地域づくりに生かす

平成28年7月28日から29日

農林水産省とふるさと回帰支援センターにおい て、今後の農業・農村政策と現在の移住・定住状況 について研修を行った。

今後の農業・農村政策を研究し、有効に利活用し ながら、移住・定住政策や空き家活用等の地方政策 を複合的に組み合わせ、本町の大きな課題である農 業や地域の担い手確保へ向けて、可能性を感じられ る研修であった。



回帰センターの山形コーナー

廃校利用の議場にて

議会広報研修

議会の雰囲気を紙面に

平成28年8月23日から24日

福島県只見町議会において広報誌の発行全般に関 しての研修を行った。

広報誌発行のスケジュールの中で、記事に審議の 雰囲気を出せるように、その日の議会が終了した後 に委員会を開催し、審議の内容を振り返り、原稿の 原案を検討しているとのこと。

より多くの町民に議会の雰囲気を感じてもらい、 読んでもらうことを意識した取り組みは非常に参考 になった。